

セミナー『複合材料入門 評価』開催のご案内

昨今、大型旅客機をはじめ、先進複合材料の適用拡大が急ピッチで進められており、新たな複合材料基材や成形プロセスに対するニーズもこれまでに増して高まってきています。その一方で、新しい材料や技術が実際に製品として採用されるまでの道のりは必ずしも楽なものではなく、サンプルを提供すれどもなかなか実用に至らないということをご経験されている会員の方も少なからずいらっしゃるものと思います。今回の複合材料入門セミナーでは、開発した材料に対する適切な評価の方法を習得するとともに、各製品分野において、実際に採用される条件、すなわちどのような評価をすれば採用してもらえるのかといった、「評価」のより実践的な側面にスポットをあてたセミナーを企画致しました。複合材料の開発、設計に携わっておられる方はもちろんのこと、企画や営業をご担当されている方がたにとっても、有用な情報をご提供できるものと確信しておりますので奮ってご参加下さいませようご案内いたします。

記

開催日時： 2007年6月13日(水)

会場： 湘南工科大学東京キャンパス (糸山タワー7階大会議室 Tel:03-5441-8596)

募集人員： 80名(先着順)

参加費： 個人・賛助会員=20,000円、学生会員=10,000円、非会員=30,000円

参加費は申し込み時に『東京三菱銀行鎌倉支店(普通)1276101 先端材料技術協会』に振込手数料自己負担にてお振込下さい。尚、お振込は今年度末日となる6月末日迄としますので、期日厳守方宜しくお願い致します。本件に関するお問い合わせは、SAMPE Japan ISO(Tel:0467-24-2721, Fax:0467-24-2735, E-mail:sampejp@fsinet.or.jp)にお願い致します。

[プログラム]

開講挨拶 10:00~10:10

企画委員長 三菱電機 尾崎毅志

1. 複合材構造材料評価 10:10~11:40

(独)宇宙航空研究開発機構 複合材技術開発センター 杉本直氏

複合材料の力学的特性評価方法、及び構造材料として評価方法について概説するとともに、複合材技術開発センターにおける、複合材料データベースとその活用方法について紹介する。また、航空機分野へ適用されるための評価についてAGATE(The Advanced General Aviation Technology Experiments)の動向など紹介する。

昼食

2. 複合材料耐久性評価 12:40~14:10

金沢工業大学 材料システム研究所 中田政之氏

複合材料の耐久性評価として、時間-温度換算則を基盤とした加速試験法(Accelerated Testing Methodology: ATM)を紹介する。また、ひずみ不変量破損則(Strain Invariant Failure Theory:SHIFT)との組合せでの耐久性評価も紹介する。

3. 複合材料硬化モニタリング 14:10~15:40

大阪市立大学大学院 工学系研究科 逢坂勝彦氏

熱硬化樹脂および複合材料の硬化過程をモニタリングする手法を紹介する。また、屈折率測定による硬化モニタリング、光ファイバーによる硬化・ひずみ同時モニタリング手法を紹介する。

休憩

4. 複合材料の製品化のための評価 15:50~17:20

様々な製品分野において、製品化に至るための評価項目や固有の評価方法、採用されるために必要な条件や設計の考え方などについて事例を交えて紹介する。

自動車 輸送機分野
建築分野
衛星 宇宙分野

(株)ジーエイチクラフト 木村學氏
(株)大林組技術研究所 木村耕三氏
三菱電機 (株)先端技術総合研究所 尾崎毅志

17:20~17:30 閉講挨拶

企画委員長

17:30~19:00 懇親会(名刺交換の場としてご活用ください。会費は参加費に含まれます。)

先端材料技術協会宛(Fax:0467-24-2735)

平成 19 年 6 月 13 日 (水)に開催されるセミナー『複合材料入門 成形その4 評価』に参加します。

所属先 : _____

連絡先 : _____
(Tel: _____ Fax: _____)

お名前 : _____

領収書発行の都合上、該当項目には必ずチェックをお願い致します。

正会員 賛助会員 学生会員 非会員
銀行振込 当日現金支払

【会場案内図】

